

第2回 清瀬市公共施設利用促進検討委員会 会議録

1 開催日時

令和5年11月8日（水）午前9時から午前10時30分まで

2 場所

清瀬市役所3階 会見室

3 会議内容

(1) 開会

(2) 前回会議における課題について

前回会議における課題について事務局から説明を行った。

(3) 視察

市内公共施設の視察を行った。

(4) 委員意見交換

- ・視察に行ったが、改めて見るとすごかった
- ・逆に言うとあのぐらいのものがないと何かを成し遂げることはできないものではないか。
- ・ひとつの団体が増築みたいにしていってといった感じか。何団体が使っているのか知りたい。1、2団体しか使っていないのであれば私物化していると感じ、公共施設としてどうかと思う。
- ・他自治体では野球場が2つあり、道具を置く場所は一切ない。あの場所（下宿第二運動公園野球場）の状態が一般的ではない。
- ・私物化されていると思う。何が平等なのか。団体によって異なる。稼働率が低い。
- ・基本的には道具は持ってきて持ち帰るのが基本であると思う。しかし、置く場所があれば便利である。
- ・清瀬市は利用料金が安い施設レベルとしては低い。他自治体はロッカーがある。連盟以外の団体が使えるのかはわからない。スポーツの目線から言うと撤去するとなると死活問題となる。制度を変えていって目指しているものに近づいてくるのが必要なのではないか。
- ・無断というのはよくない。所有者がはっきりしていないものはよくない。必要性は感じながらも事故があった場合の責任問題もある。法律的な観点からも意見がほしい。

- ・市民の目線が一番あって、その次に利用団体の利便性を考えるべき。
- ・物の管理はお金がかかるもの
- ・まずは誰のものなのかを明確にするべきだと思う。期限を決めて使っていないものは処分するなど行っていくべき。設置を継続するのであれば委員会で決めていいのではないか。
- ・管理の明確化ができていないと思われる。
- ・総合的に考えて一番いい方法を見つけていければと思う
- ・しっかりと書類に残して管理責任をしておくべきであると思う
- ・子育て広場を実施する際に、マットなど荷物が多い。市の事業としてイベントの場合は使用料をとる場合に委託料に組み込んでいただいたり少し安くしてくれたりしてくれないかと思う。
- ・子どもが使っていたら安くなる施設というものはないと思う。ダンスなど子どもが使っている会議室などは安くなるわけではない。
- ・会員の何パーセントが市民なのかを報告してもらうなど自治体で取り扱いが異なる
- ・各種団体から要望をもらうことというのはあるのか
- ・そこで働いている人が一番知っている。指定管理者になっていても市に情報が集まるようにした方がよいのでは。

(4) その他

次回日程等について事務局より報告をして閉会となった。